

平成26年度

改革・改善サイクル点検・評価対象事業における
評価ポイント

共通評価ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ①事業目的に対する効果について、検証を行っているか。 ②事業目的に対して、目標値や成果指標の設定が妥当か。 ③費用対効果（コストバランス）は適切であるか。 ④社会経済情勢の動向を踏まえ、現状を的確に把握し、事業内容の規模や手法の再検討ができないか。
----------	---

個別評価ポイント	負担金交付事業	<ul style="list-style-type: none"> ①事業目的に対して、事業内容・負担金交付額が妥当か。 ②負担金交付事業の内容・使途を的確に把握し、精査しているか。 ③団体に対する負担金については、目的を明らかにした上で、費用負担のあり方を検討できているか。 ④施設管理に係る負担金事業については、管理責任を明確にし、安全・効率的な維持管理となっているか。
	補助金事業	<ul style="list-style-type: none"> ①実効性のある支援策となっているか。 ②団体に対する補助事業については、自立化・活性化に向けた具体的検討は行われているか。 ③時限的な補助金対象を考慮する必要はないか。 ④負担の公平性は保たれているか。 ⑤実績のない補助事業については、理由を検証し、廃止も含めた見直しを検討できないか。 ⑥本当に必要な事業の効果をあげるために、集中投資できないか。
	イベント関係事業	<ul style="list-style-type: none"> ①随意契約による委託事業については、毎年度、委託料の根拠を内訳・明細等により検証できているか。 ②能動的な取り組みとなっているか。 ③目的に沿った地域の特色ある企画となっているか。 ④幅広い対象者（多くの市民対象等）のイベントになっているか。 ⑤参加者の増加を図るための取り組みができないか。 ⑥関連する他事業との連携や、他のイベント事業との統合により、効率化と重点化を図れないか。 ⑦より効果的なPR方法など、今後の有効な事業展開を検討できないか。
	情報発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ①災害時の情報発信体制の観点から、関係機関との連携や取組方法等の検討がなされているか。 ②随意契約による委託事業については、毎年度、委託料の根拠を内訳・明細等により検証できているか。

個別評価ポイント	保健・医療事業	<p>①関連機関・関連する事業と可能な範囲で相互連携することによって、より効果的な事業展開ができないか。</p> <p>②本市の人口構造や地域性を加味したオリジナルな事業展開ができないか。</p> <p>③認知度や利用率の低い事業について、改善策を検討し、事業内容・実施手法の再検討ができないか。</p> <p>④市民にわかりやすい内容となっているか。</p> <p>⑤事業対象者について、公平性が保たれているか。</p> <p>⑥当該事業は、租税負担されるべき市として必要な事業か。</p> <p>⑦受益者負担が妥当な事業ではないか。</p> <p>⑧民間等で同等の事業が存在していないか。存在している場合は、市事業と民間事業との棲み分けが明確にできているか。</p>
	その他サービス提供事業	<p>①事務の簡素化は可能か。</p> <p>②より効果的なPR方法など、今後の有効な事業展開を検討できないか。</p> <p>③実績の少ない事業及び実績が減少している事業については、改善策を検討し、事業内容・実施手法の再検討ができないか。</p> <p>④事業対象者について、公平性が保たれているか。</p> <p>⑤受益者負担の観点から一部有料化を検討できないか。</p> <p>⑥本市の人口構造や地域性を加味したオリジナルな事業展開や先進的な事業展開ができないか。</p> <p>⑦利用者ニーズに沿った、より満足度の高い手法はないか。</p> <p>⑧類似事業を可能な範囲で相互連携させることによって、効率的な執行はできないか。</p> <p>⑨市民サービスの向上と効果的な運営方法の検討は行われているか。</p> <p>⑩委託して実施している事業については、委託内容を精査・検証できているか。</p>